

東大和市子ども・子育て支援会議 第4回議事録

会議名	平成30年度 第4回 東大和市子ども・子育て支援会議
開催日時	平成31年1月29日(火) 14:00～15:20
開催場所	中央公民館視聴覚室
委員	(出席者) 上田委員、神原委員、黒岩委員、佐々木委員、續谷委員、仲里委員、水上委員、 小林委員 (欠席者) 網干委員、黒田委員、菅野委員
事務局	吉沢(子育て支援部長)、榎本(子育て支援部副参事 子ども・子育て支援施策推進担当) 鈴木(子育て支援課長)、関田(保育課長)、新海(青少年課長) 梶川(子育て支援部副参事 狭山保育園長)、堀越(健康課長 代理 保健係長) 小坂(子育て支援課子ども家庭支援センター長)、渡邊(保育課保育・幼稚園係長) 横山(保育課管理・給付係長)、岡部(青少年課青少年育成係)
傍聴者	0名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度答申(案)について (2) 東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査中間集計について (3) 次期(第二期) 東大和市子ども・子育て支援事業計画の名称について (4) 報告事項 (5) その他 4. 閉会
配付資料	<p>[事前配付]</p> <p>東大和市子ども・子育て支援事業計画について答申(案) 東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査単純集計表 市町村子ども・子育て支援事業計画等の状況</p> <p>[当日配付]</p> <p>東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書(平成31年1月) 平成31年度子ども・子育て支援事業計画の策定作業スケジュール(案) 多摩26市等の子ども・子育て支援事業計画等の名称及び子育て支援部内職員アンケート結果 報告事項の参考資料 平成31年度「学童保育所」「ランドセル来館」利用案内</p>
会議の結果及び主要な発言	
事務局 部長 事務局	<p>1. 開会</p> <p>定刻となりましたので、平成30年度第4回会議を開催させていただきます。 開会に当たりまして、子育て支援部長よりご挨拶をさせていただきます。 (部長あいさつ) ありがとうございました。</p> <p>なお、本日、網干委員、黒田委員、菅野委員が所用のため欠席になります。 それでは、ここから会長に進行を引き継ぎさせていただきます。 それでは会長よろしく申し上げます。</p>

<p>会長</p>	<p>2. 会長挨拶</p> <p>今日の議題は、30年度の答申を市長に行うということで、その最終的な調整になります。</p> <p>このところ、去年5月に目黒区で5歳の女の子の痛ましい事件があり、最近では千葉で小学4年生の女の子の事件があり、子どもの虐待は相変わらずなくなるところがありません。行政も大変一生懸命やっていますが、場合によっては対応に齟齬が生じたりすることもあるかと思えます。国の児童虐待防止法があるのですが、東京都ではその辺りを含めて、都独自で子どもの虐待防止条例をつくるため、昨年12月中にパブリックコメントを実施しました。年が明けたので多分、2月第1回の定例都議会で、与野党とも特に何もなく承認され、東京都としての子ども虐待防止条例が制定されることになるかと思えます。</p> <p>先週、小池都知事と事業団体の代表ということで5分程度、次年度の予算要望の結果を承る面談の機会がありましたので、そのときに虐待防止の都条例の件もお話して、小池都知事が一生懸命力を入れている保育所の待機児童の問題だけではなく、社会的養護・養育に関する虐待防止も含めた面にも引き続き力を入れてほしいという要望をしてきました。</p> <p>当会議におきましても今の状況からすれば、主体となるのは保育所の待機児童対策、小中学生の放課後の居場所への対応ですが、それだけではなくて社会的養護も含めた、地域で孤立化しそうな子育てをどうやって地域で支援していくのか、その観点に立ちまして今後もこの計画に携わっていければ幸いかと思いますので、ぜひ皆さんの英知を結集した、いい活動ができるように期待していますのでよろしくお願いします。</p> <p>では、本日は傍聴人はいらっしゃいますか。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>おりません。</p> <p>では、お手元の会議次第に沿って進めていきたいと思しますので、よろしくお願いします。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>3. 議事</p> <p>(1) 平成30年度答申（案）について</p> <p>議事の1番目、平成30年度答申(案)について事務局からご説明をお願いします。</p> <p>それでは、平成30年度答申(案)、東大和市子ども・子育て支援事業計画 平成29年度実施状況報告書についてです。事前にお配りした資料1をごらんください。</p> <p>前回の会議で平成29年度の実施状況報告書をご承認いただきましてありがとうございます。実施状況報告書の評価結果等を踏まえたご意見及び先日実施した東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査の中間集計について、2月21日午後1時30分より、正副会長から市長へ答申させていただき予定です。</p> <p>その答申内容についてご審議いただきたくよろしくお願いします。</p> <p>では、資料1を改めてごらんいただきまして、その上でご意見を承ればと思います。</p> <p>いかがでしょうか。何かこの答申(案)について、ご質問やご意見はありますか。</p> <p>特にご意見がないようでしたら、この内容を前提として、市長に答申させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>では、承認ということで進めさせていただきますので、よろしくお願いします。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>(2) 東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査中間集計について</p> <p>引き続きまして、ニーズ調査の中間集計について事務局からご説明をお願いします。</p> <p>それでは、事前配付の資料2をごらんください。</p>

事業者

本来は表紙の後ろに調査報告書となりますが、調査票の回答期限を過ぎた後も、回答がそこそこありましたことから集計に時間がかかりまして、回収状況の表紙だけを事前送付させていただき、報告書は当日配付となりました。

ニーズ調査票は昨年10月25日に送付し、提出期限を11月22日としました。その後も12月上旬まで回答がありましたので、12月第2週の時点で中間集計の作業に入りました。その後も12月末までに数件の回答がありました。

回収率ですが、未就学児及び就学児については目標を50%としておりましたが、未就学児は49.8%、就学児は48.8%、中学生は37.5%、高校生は29.5%でした。前回の調査時と比較しますと、未就学児が2.0ポイント、就学児が5.2ポイント程度上がりました。中学生と高校生については今回が初めての調査となりますので比較はできません。

今後の予定ですが、今回の集計結果に基づく傾向や自由意見で件数が多かった内容等をまとめた報告書を今年度内に作成し、市民の皆様や市の公式ホームページでも閲覧ができるようにする予定です。調査の集計結果、次期計画への反映方法や今後のスケジュールについては、事業者からご説明させていただきます。

それでは、資料のご説明をさせていただきます。

最初に回収状況ですが、未就学児、小学生については約5割でしたが、中学生、高校生は郵送による回収という形をとりますと、他市町村でも約3割前後とどうしても少なくなってしまう傾向がありますので、中学生は比較的多かったというところです。

報告書はかなりボリュームがありますので、主な部分についてご説明させていただきます。

7、8ページをごらんください。⑥番の「父母以外でお子さんの面倒を見てもらえる親族がいますか」です。「緊急時もしくは用事のある際は祖父母等の親族に見てもらえる」が多くなっていますが、「いずれもない」も前回に比べると少し増えているので、そういった方への支援も今後、必要になってくるのかというところです。

右側の相談相手ですが、配偶者、友人・知人が多く、保育園・幼稚園等の先生も含め、比較的身近なところで相談相手がいる状況です。

⑨番は現在の就労状況を聞く設問です。特に母親については、下から3つ目の「以前は就労していたが現在は就労していない」がかなり減少しています。逆を言いますと就労している母親が5年前に比べて結構増えている状況になっていますので、今後もそういった部分も含めた保育ニーズを加味していく必要があると考えています。

続いて、19、20ページの⑫番は先ほど聞いた「パート、アルバイト等」で就労している方への設問です。そういった方の今後の働き方を聞いていますが、フルタイムへの転換希望が未就学児では約4割、就学児では約3割で、皆さん共働き、さらにはフルタイムで働きたい希望がある状況です。ただ、一方で、なかなか実現できる見込みがない方も多くなっています、右側の部分でいきますと⑬番については、これまで就労したことがない方に就労希望を聞いています。「就労の予定はない」が3割程度、1年より先に就労したいと答えた方もおります。

その続きが19ページ下側のイで、就学前では一番末子の子どもが3歳、4歳ぐらいになったら働きたい、小学生では特に小学校卒業後も含めた12歳、7歳も高くなっていますので、今後も働きたい女性、共働き家庭が増えてくる傾向にあると思われます。その傾向もありまして、右側の20ページ(2)の①番、現状の利用状況、幼稚園・保育園等の利用状況について聞いていますが、こちらも前回に比べて「利用している」が伸びている現状です。

次ページの②番「平日どのような教育・保育を利用していますか」ですが、認可保育園が

最も多く、年齢別で見ますと、0歳から2歳で認可保育園が高くなっています。その部分は今後のニーズになりますが、31ページ⑦番の「現在利用している、していないにかかわらず、保育園等の利用を希望しますか」で、基本的には現状とほぼ同等の利用意向になります。前回と比較しましても、基本的に大きく変わりません。保育園が一番高くなっており、幼稚園という希望も高い現状になっており、これまでの傾向のような形で今後も伸びていく、働くお母さんが増える分、増えていくのかというところです。

35、36ページでは(3)番、地域の子育て支援事業の利用状況で、「かるがもひろば」や「子育てひろば」の利用状況を聞いています。「利用していない」が64.5%ですが、おおむね3割半ばの方が利用されています。

右側の36ページ②番になりますが、「既に利用しているが今後利用日数を増やしたい」、「利用していないが今後利用したい」が約2割ありましたので、そうした潜在的なニーズも含めると、半数ぐらいの方は利用したいという回答をしていることになります。

次ページの③番では、事業の認知度を聞いています。認知度におきましては、かなり認知度が高い事業等もある一方で、幼稚園の子育て相談・子育て講演会等については、少し認知度が低い現状です。いろいろな事業を実施していく中で、認知度も周知しながら利用促進をしていくことが重要になっていくと思っています。

43ページの(5)番からは、「病気の際の対応」になります。特に平日、教育・保育を利用している方に対して、「子どもの病気等で事業が利用できなかったことがありますか」では、「あった」が75%、その下の年齢別を見ますと、0歳から4歳までが高くなっており、特に0歳の辺りは8割になっています。右側の②番にあるように、現実には母親が休んだ形になっています。

次ページの③番で、病児・病後児保育の利用希望を聞いています。未就学では、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が36%、小学生では18%で、そうした子どもの病気のとときに病児・病後児保育を利用したいというニーズがある現状です。

次の51、52ページをご覧ください。一方で、「病児・病後児保育を利用したいと思わない」の理由を聞いています。⑤番で未就学児、小学生ともに「親が仕事を休んで対応できるため」という方もおりますので、実際にニーズ量を出していくときに、病児・病後児保育のニーズ量と実際の利用状況にかなり差が出てくる状況がありますので、こういった状況も踏まえながら、しっかりと見極めていきたいと考えています。

55、56ページの③番、「お子さんについて私用、通院、就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要がありますか」ですが、半数の約47.8%が何らかの利用をしたいで、その目的も私用、リフレッシュ等も含めてになっています。就労等だけではなく、保護者のリフレッシュ目的の一時預かりというニーズもしっかりと捉えていく必要があるという状況です。

59ページ(7)番は、小学校就学後の放課後の過ごし方を5歳児に聞いています。学童保育を見ますと、利用希望が前回に比べて伸びています。教育の壁という部分もありますが、すぐ先の話になりますので、そういった部分で今後も保育サービスを利用したい方が増えてくるのかと思われます。

67、68ページは小学生の放課後の過ごし方です。前回との比較でいきますと、前回は無回答が0%になっています。統計上、無回答を省いた処理をしている可能性もありますので、一概に減ったということではないのかもしれませんが、小学生では学童が2割になってきています。その下段の高学年を見ますと、習いごとの割合が少し伸びてくるので、学童のニーズは下がっていく傾向になっています。

75、76ページの上段(9)番で、育休の取得状況を聞いています。「取得した」、「取得中である」のほとんどは母親で約4割、父親は約5%弱になっています。

今、いろいろな制度が出てきている中で、そういったニーズも増えてきている現状です。

83、84ページの一番最後、左側の②番で、「取得中である」方に聞いています。「お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか」では、今そういったニーズは当然高いところですが、この部分は国も0歳児のニーズを見ていくところもありますが、1歳児、0歳児のニーズは非常に高い現状です。

84ページの(9)番、子育て家庭の暮らし向きですが、①番で朝食の摂取状況を聞いています。小学生低学年、未就学児も含めて95%ぐらいは朝食を毎日とっていますが、「朝食を食べない」も若干ですが見られるので、そういった欠食という部分が問題です。その下にある「朝食を食べる」という中でも、若干ですがお菓子が朝食になっている現状もありますので、そういった生活習慣を送るという部分で、見直しが必要になってきます。

91、92ページ⑭番です。家庭の暮らし向きを聞いています。経済状況等で「普通」が多いですが、「やや苦しい」、「大変苦しい」が未就学で25%、小学生で3割程度になっています。

⑮番では収入状況を聞いています。こうした⑭番⑮番は、まだ分析までいっていませんが、こうした経済的に苦しい方、収入的な部分での貧困という部分に着眼し、各集計をさせていただきながら、さらなる対策に向けた分析を進めさせていただければと思っています。

95、96ページの⑱番は「子育てに関して、日常で悩んでいること、または気になることはどのようなことですか」です。未就学児では、「子どもをしかり過ぎているような気がする」が一番高く、小学生でもかなり高い割合になっています。さらには小学生では「子どもの教育に関すること」で学校の部分、未就学では発達といった部分の悩みが高い現状になっています。

103、104ページですが、⑲番「安心して子育てをするために地域でどのような取り組みが必要だと思いますか」ですが、未就学児では、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やすこと」、いわゆる居場所、親子の居場所づくり。次いで、「子どもと親と一緒にできる活動を増やすこと」で、そういった親子で過ごす場所が高くなっています。小学生を見ますと、「学校や保護者、地域の人たちが協力して安全に登校する活動をする」や、「地域の大人たちが連携して子どもの活動の育成支援をする場所をつくる」が上がってきています。

103、104ページの⑳番ですが、「日常生活において孤立を感じますか」では、「余り感じない」、「全く感じない」が多くなっていますが、特に就学前になると、「やや感じる」、「強く感じる」が約2割、小学生でも少し減り、約1割程度見られます。

㉑番の「地域の人から見守られていると思いますか」も、「どちらかと言えば見守られていない」、「全く見守られていないと感じる」が15%、小学生では1割弱ぐらいが見られますので、こうした地域で孤立を感じている方が無いように見守り体制や支援が今後必要になってくるのかということなのです。

104ページの「過去30日にどれぐらいの頻度でありましたか」ですが、「理由もなく疲れ切っているように感じた」、「神経過敏に感じた」、「憂鬱に感じた」、「何をするのも面倒だ」、「全くない」は少ないです。先ほども一時預かりをリフレッシュ目的で、とありましたがそういったリフレッシュ等の部分、さらには相談支援も必要になってくると思っています。

107、108の上段、23番です。「思わずたいたり、心を傷つけてしまうようなこと」を上げています。「全くない」というのはなかなか難しいですが、「少しだけ」、「いつもあった」はあります。虐待につながっていくこともありますので、潜在的な部分としては少なからずあるというこ

とです。そういった部分で周囲の見守り、支援が必要になってくるのかと思っています。

24番では、「市の子育て支援策に期待することは何ですか」を聞いています。未就学児、小学生ともに、「犯罪、交通事故から子どもを守る」、「安全・安心」といった取り組みが求められています。さらには就学前では「保育サービスの充実」、「保育料負担等の部分を含めた充実」というところです。そういった安全も1つのキーワードになってくるのかと思っています。

115、116ページの26番ですが、「今後さらに東大和市で子どもを生み育てたいと思いますか」ですが、「思う」が66.5%でした。前は54.3%でしたので、12ポイントほど上昇しています。小学生は前回の「子どもを生み育てたいと思いますか」から今回は「子どもを育てたいと思いますか」と聞き方を変更していますので、前回の37.3%が、今回は8割以上が「育てていきたい」という回答をいただいています。

以上が小学生、未就学児の保護者の部分になります。

119、120ページから中学生、高校生の内容です。

119ページ②番は、「普段から次のことをしていますか」ですが、「料理をする」はなかなかできてなく、高くなっていますがこれ以外では「早寝早起きをする」、「朝食をとる」ができているが86.7%、高校生でも78%になっていますので、生活リズムの乱れも年をとるといいますか、学年が上がるほど悪くなっていく傾向になっていますので、生活習慣という部分でのアプローチも必要になってくるのかと思っています。

③番以降からは、自己肯定感で、「自分のことが好き」、「周囲の目」を聞いています。123ページの⑤番、⑥番では、「親からきつい言葉を言われた」、「たたかれた」、「食事をもらえなかったことがあった」ですが、「全くない」が多い中、若干ですが、「以前はあった」、「よくある」が2.7%という現状です。

逆に⑥番ですが、「暴力を振るってしまったことがある」も、「全くない」が高く、「よくある」はありませんが、「たまにある」は少し高くなっています。

131、132ページ⑤番は、いじめの問題です。基本的には「ない」ですが、子どもから見ても、「少しある」も若干あります。過去にという⑥番では、「以前はあった」もありますので、こういった学校生活の中でも今後必要になってくるところです。

135ページは、いわゆる悩みを聞いていますが、「現状で悩みがあるかどうか」では、「ある」が中学生で5割半ば、高校生でも6割半ばで、概ねの内容としては⑨番にありますように、「勉強のこた」がかなり高くなっています。そのときの相談相手を⑩番で聞いていますが、友達、母親、父親という身近な部分が多い中、「自分で解決する」も高くなっています。本当にわずかではありますが、「相談したいができる人がいない」も1人、2人というレベルではありますが、今回のアンケートではそうした部分のフォローもしっかり見ていくことになってくるということです。

その下段の⑫番から、「スマートフォン等を持っているかどうか」、その使い方を聞いています。「自分専用として持っているか」では、中学生では約7割、高校生になりますと96%でほぼ皆さんが専用のスマートフォンを持っている現状です。

⑬番、⑭番にありますように、その使い方では、「取り決めをして使っている」が中学生では4割半ば、高校生では2割半ばで、逆に言うと中学生は5割、高校生では7割の方が特に取り決めなく使っています。

さらには⑭番で「インターネット等、SNS等に夢中になっているか」では4割半ば、高校生でも6割近くになっていますので、今後そういった情報、SNSといった部分も含めた啓発が必要になってくるのかと思っています。

<p>会長 事業者 会長</p>	<p>最後に159、160ページで、「ボランティアをしたことがありますか」です。中学生では、「ある」が4割、高校生では3割。「その結果どう感じたか」でいきますと、「人に喜ばれてうれしかった」、「何となく清々しい」が多くなっています。なかなか忙しくて時間がないのか「やらない」も見られますが、「これからもするつもりはない」も見られます。経験するとそうした福祉の気持ちといったところも芽生えてくることもありますので、地域のつながりといった中高生、本人に対してボランティアを今後、促進をしていくという部分になっていくと思っています。</p> <p>先ほど述べましたように、貧困の部分も今後、そうした分析を踏まえて、計画の課題、これまでの取り組みやアンケートから見える課題を少し整理をさせていただきながら、次期計画の課題骨子という形でつなげさせていただければと考えています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>会長、皆様のご意見を聞いていただけますか。</p> <p>今、これだけの要点をご説明いただきましたが、何かご意見、ご質問、あるいは感想がありましたらお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>回収率に関しては、未就学児、小学生といった親御さんが回答するものは50%を超えてほしかったというのが正直なところですが、中高生については大体思春期の回答率はこのようなものという気はしますが、これは今回実施してよかったと思います。回収率は低かったですが、それなりの方向性、傾向が得られてよかったという総括的な感想を持ちました。</p> <p>こちらの集計結果は昨日、納品されましたので、事務局でもあまり読み込みができておりません。2月21日に市長へ答申していただく予定ですが、それまでにこの集計結果に手を加えたもので答申したいと思います。これだけのボリュームについて、ご意見等を今日中にいただくのは難しいので、ご意見、ご要望等がありましたら前回使用したフォームを利用して、2月8日(金)までにファクスかメールでいただきたいので、よろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>なかなかいい調査結果の報告をいただきました。もっとじっくり読み込みたい委員もおりますでしょうから、何かありましたら質問等々、あるいはご意見票をもってお願いします。時間がなくて申しわけありませんが、2月8日(金)までにいただければ、そこから10日後ぐらいの答申までに調整ができます。答申は市長のご都合もありますので、期限はこのように設定させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>新しく対象者となりました中高生もそうですが、新しく設けた項目もそれなりの結果が出ていまして、興味深いという気がしました。</p> <p>東大和市の市民の皆さんは比較的、ある種穏やかといいますか、そんなに切迫感を持った子育ての段階に至らずにいるという感覚があります。市の標語にもありますが、ゆったりとした雰囲気がこういう調査結果からも垣間見られるような気がしまして、個人的にはうれしかったこともあります。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。今ご覧になって直ぐにというのは難しいかと思いますが、では、事務局からも何かありましたら。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見をいただいたものを反映し、修正をかけたいと思います。それを最終案として、次回3月19日の会議でご承認いただくということでやりとりさせていただけたらと思っています。</p> <p>報告書の納品期限が3月22日(金)ですので、次回の会議で確定しないと印刷が間に合わなくなりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それから、当日配付資料2をごらんください。来年度のスケジュールになります。</p> <p>4月の第1回目、市長から諮問をいただくように日程を押さえました。4月5日(金)の2時とい</p>

<p>会長</p>	<p>うことで、場所はまだ未定ですが、日程の確保をお願いします。次期計画の策定ということで、会議も7回予定しています。7月に今期の皆様方の任期満了になります。8月からは次期委員の皆様へ新たにお願いすることになりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>次年度は計画策定に当たり、市民説明会やパブリックコメントを実施し、年末に市長へ答申し、来年3月には計画の決定をするというスケジュールになりますので、新年度が始まりましたら、また日程等のご案内はいたしますが、大まかにご案内いたしました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今後、意見があるようでしたら2月8日(金)までをお願いします。</p> <p>もしご意見等が出てきた場合は、それをもう一回このような形ではなく、出てきた意見を集約して、最終的に正副会長と事務局で調整させていただくことでご承認いただけますか。</p> <p>では、そのようなスケジュールでいきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>(3) 次期(第二期) 東大和市子ども・子育て支援事業計画の名称について</p> <p>続いて3番目の次期東大和市子ども・子育て支援事業計画の名称について、事務局からご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次期計画は、現計画の2つの市町村行動計画に加えて、新たに「次世代育成支援計画」、それから、「子ども・若者計画」、「子どもの貧困対策計画」、以上5つの市町村行動計画を包含する子育てを総合的に支援する計画とするため、現在は名称を(仮称)東大和市子ども総合プランとしているところであります。そこでお手元の資料3をごらんください。</p> <p>多摩地区26市の現在の計画における他の市町村行動計画の包含状況と、次期計画に新たに盛り込む予定の市町村行動計画がありますか、という調査を行いました。左の欄に計画名が載っていますが、その集計結果になっています。</p> <p>それから、今度は当日配付資料3をごらんください。これは今回、子育て支援部内の職員に対してアンケートを行いました。各市の右に数字がありますが、投票した職員数になります。それから一番下には、その他提案のありました計画名を記載してあります。こちらについても参考にいただきまして、次回の会議で次期計画の名称を決定していただけたらと思っておりますので、ご審議よろしくをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、資料3と当日配付資料3の両方をごらんください。多摩地区の主立った計画が載っていますがいかがでしょうか。要するに前回に比べて根拠となる法令が増え、策定しなければならない計画もいろいろ増えて5つになりましたので、いわゆる総括するといえますか、統合した形になっていますが、ご意見等いかがでしょうか。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>今の5つの市町村行動計画をもう一度お願いできますか。</p> <p>5つの計画ですが、現計画の下に小さく書いてあります。子・子計画が、「子ども・子育て支援事業計画」、それから今度入ります「次世代育成支援計画」、「子ども・若者計画」、「子どもの貧困対策計画」、現計画に包含されております「放課後子ども総合プラン」になります。他市では「母子保健計画」、「ひとり親家庭自立支援計画」というのもありますが、当市は上段のこの5つが入ります。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>こちらについても、皆様方のご意見をいただきたいと思っておりますので、こちらをあわせて2月8日(金)までに、ここに例示がないものを含めて、ご意見用の用紙を配布いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>この用紙には5つ計画名を記載する欄がありますが、できましたら一推しの一つのみを記</p>

事務局	<p>載していただくのがよろしいかと思ひます。候補に挙げたものを他の委員も記載してましたらアンケートをとった意味がありません。東大和らしいものでもよろしいかと思ひます。</p> <p>お手数ですが、そのほかはフリーで、提案するのは例示でも、ビジュアルでも結構なので、よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>ということで、今、この場で議論するのも何ですから、このアンケート結果についてご意見をお願ひしたいと思ひます。こちらも締め切りは2月8日(金)ということです。</p> <p>集まったものをベースに、次回の第5回会議で次期計画の名称を決定したいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>(4) 報告事項</p> <p>では、これで予定されていた(1)から(3)までの議事が終了したので、(4)の報告事項について、事務局からご説明をお願ひします。</p>
事務局	<p>子育て支援課です。配付資料はありませんが、平成32年に当市が市制50周年を迎えます。この年の9月に市を挙げて記念式典や特別事業、連携事業等を実施する予定です。</p> <p>東大和市の未来を担う子どもたちの健やかな成長を市民、地域、事業者及び市が相互に協力して守り、育むとともに、子どもたち自身が社会の一員として生きていける力を育めるよう、市の子育て環境のさらなる発展を目指すため、子どもと大人の行動規範となる「(仮称)東大和市子ども・子育て憲章」を制定したいと考えているところです。現段階の案ですが、子ども自身にとってわかりやすく、覚えやすく、親しみやすい形式とするために、子どもと大人で話し合いを実施し、相互の意見を取り入れていきたいと考えています。</p> <p>策定方法ですが、小中学校から代表者を選出し、その代表者と当会議の委員がお話をしただいて、素案を策定していきたいと考えています。そのほか、子どもと関係のあります教育委員会、民生委員、青少年対策地区協議会といった団体に対しても、ご意見をいただきたいと考えているところです。</p> <p>小中学校の代表者との話し合いの時期ですが、4月に新学期に入りましたら、教育委員会経由で各学校の代表者に依頼をする関係で、日程等は現段階では決定していません。具体的な内容については、次回の会議でご説明できるように準備しています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この市制50周年記念に当たっての憲章に関して質問、意見は次回でもよいですが、この提案に対する質問はありますか。</p> <p>この小中学校の代表者というのは子どもさんですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
会長	<p>学生ということですが、どのぐらいの人数を想定していますか。小学生何人、中学生何人。</p>
事務局	<p>小学生は6年生を1人です。10校ありますので男女で20人。</p>
会長	<p>そういうことですか。各校男女1人ずつ。</p>
事務局	<p>そうです。中学校は3年生は忙しいと思ひますので、2年生がよいと思ひます。中学生は7月に「社会を明るくする運動」の意見発表があり、1月から動いていただいているところもありますので、その方とかぶってしまうと難しいところもありますが、そのような方向で考えています。</p>
会長	<p>子どもたちの意見発表に関してはそれなりの人数になるわけで、十小までで20人、五中までで30人、場合によっては50人にもなりますからそれなりの規模になります。</p>
委員	<p>全部で15校ですから。</p>

会長	<p>具体的な内容、日程は次回の会議でということになりますが、そういう予定があるという報告を受けたということによろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>保育課です。保育施設の一時申し込みの結果を報告させていただきます。</p> <p>平成30年11月26日(月)から12月7日(金)の11日間、申し込みを受け付けたところ、申し込み件数は503件で昨年の538件より35件少なくなりました。昨今の保育士不足というところで保育園の受け入れが、特に待機児童の多い1、2歳においてかなり少なくなっています。</p> <p>今年は33人受け入れが減少しているので、待機児童数が平成30年4月の24人に比べますと、それより多くなることが見込まれています。市としては保育士の確保に努めるため、昨年1月に開催した保育士就職相談会の取り組み強化、保育士の処遇改善に努めるとともに、私立保育園の増床を行い、乳児の受け入れ強化を行ってまいりたいと考えています。</p>
会長 事務局	<p>保育園の31年度申し込み状況について、この件に関して何かご質問はありますか。</p> <p>青少年課から平成31年度「学童保育所」、「ランドセル来館」事業の申請状況について報告させていただきます。当日配付資料4をご覧ください。</p> <p>平成31年4月からの学童保育所及びランドセル来館事業の1次申請を平成30年12月3日から平成31年1月11日まで受け付けました。現在は2次申請期間中で、2月15日までになります。これまでランドセル来館事業は、学童保育所を入所保留となった児童が対象でしたが、保護者の様々なニーズに応えようと事業の見直しを行い、平成31年度から学童保育所又はランドセル来館事業のどちらか利用しやすいほうを選んで申請できるように変更しました。</p> <p>申請できる保護者の要件は学童保育所、ランドセル来館事業ともに同じになっています。</p> <p>今回の見直しにより、最初からランドセル来館事業に申請した児童については、要件等がそろっていれば定員を設定していないため、全員受け入れとなります。</p> <p>これまでは学童保育所を入所保留となった児童がランドセル来館事業の対象であったことから、学童保育所に空きが生じた場合、その時点でランドセル来館事業の方を希望しても、利用できませんでした。平成31年度からは、ランドセル来館事業の方を利用したい方は、希望すればランドセル来館事業の利用を続けることが可能になりました。また、学童保育所を入所保留となった児童は、これまでと同様、学童保育所の空きが出るまでランドセル来館事業を一時利用できます。</p> <p>一次申請期間中の受付状況ですが、学童保育所738人、ランドセル来館事業199人の合計937人になっています。</p> <p>昨年の一次申請期間中の学童保育所の受付状況は938人でしたので、前年比1人の減になっています。学童保育所だけの比較をしますと前年比200人の減となっていますことから、今回の見直しにより、学童保育所を利用希望している方にとって、より入所の機会を広げることにつながったのではないかと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ランドセル来館の利用に関する報告でしたが、ご質問等ありますか。資料の最後に学童保育所とランドセル来館の比較表がありますがよろしいでしょうか。</p> <p>それでは3つの報告事項について、ご質問、ご意見いかがでしょうか。</p>
会長	<p>(5) その他</p> <p>報告事項が終わりましたので次の次第、(5)その他ですが、委員の皆さんから何か提起さ</p>

	<p>れる議題、議事等々ありますでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど中学生の「社会を明るくする運動」の意見発表の実行委員募集の時期についてお話がありました。大体いつも3月ぐらいになります。そうしますと、この憲章に選ばれる子どもたちと重ならない方がいいと思います。「社会を明るくする運動」の意見発表も実行委員と意見発表をする子が重なっていることが多いので、その辺りのところを学校に周知していただき、時間的なこともあり、うまく選出してもらえようなお手紙を出してお願いしています。</p>
事務局	<p>その辺りは承知していますので、「社会を明るくする運動」の実行委員となるべく重ならないように、忙しいことも重々承知していますので、そこは教育委員会と調整しながらやっていきたいと思っています。今年度中には校長会や役員会にお話をさせていただいて、その辺りを詰めさせていただくように進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>お願いします。</p>
委員	<p>病児・病後児をご利用する親御さんの意見や質問をよく受けませんが、公園がきれいではない、公園の整備はどうなっているのかという主旨です。我々の会議では該当しないと思いますが、公園整備の進行状況というか、その辺りは行政としてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>直接の所管ではありませんので難しいのですが、昨秋に実施した市長のタウンミーティングの子育て関連のときに、若いお母様方と市長が直接話していただいた場でも、公園のお話がたくさん出ました。安心して遊べる公園、もっときれいな公園が欲しい、それから、日曜日にお父さんが連れ出せるような、今、児童館も日曜日は閉まっています。そういったところに、公園だけではなくて雨の日に来られるような場所が欲しい、というご意見もいただいています。そういったところを市長も聞いてくださっておりまして、全庁的に考えていかなければならないと十分認識していただいていますから、そういった意見がありましたということで、公園を所管している環境部にも内容等もお伝えさせていただきました。環境部でもそういった公園の計画をこれから立て、具体的な事業等も進めていく予定となっていますので、全庁的に連携を図りながら、そういった意見も踏まえまして進めるようにしていきたいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>私の勤務する園は園庭がないので、毎日戸外に散歩に行っています。東大和市外の小平市にもよくいきますが、小平市では毎日きれいに掃除されており、ゴミ1つ落ちていない状態です。東大和市の場合ですと、たばこの吸い殻、この間はびんが割れてそのままの状態というのがありまして、子供が安全に遊べないということがありました。掃除はどういった形で、どのぐらいの程度で公園の掃除をやっているのか教えていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>それは環境課です。砂も入っていないのでしょう。</p>
委員	<p>ですから、私たちが遊ぼうという前には全部のごみ拾い等をやりまして、ごみを持って帰ってからという状態で遊んでいます。隣の市はきれいに掃除、ほうきの跡がある状態なので、こうも違うんだというのが、毎日外に出ているのでわかる状態です。</p>
事務局	<p>本当は利用者が掃除をしてくれるのが理想なんです。</p>
委員	<p>本当にそうです。それが一番なのかもしれません。</p>
事務局	<p>地域にある公園ですから、市も管理をもちろんです。そういった公園管理のボランティアや地域の人で、うまく植栽やお花を植えていただいている地域もあります。それぞれの地域性というものもあるのですが、そういったところの醸成、地域の人と一緒に取り組んでいくところも含めまして、そこは課題なのだと思います。</p>
	<p>たばこの吸い殻が多いことは、先日出席した青少対の会議でも話題になっていました。青</p>

<p>会長</p>	<p>少対それぞれの地域で、皆さん清掃活動等をしていただいています。昔より道路等のごみは すごく減っていますが、たばこの吸い殻だけは未だに多いという地域が多かったので、そうい ったところの啓発を含めて、これからオリンピックに向けた禁煙の条例等もあります。市民の皆 様とともに環境というところを、それを市としてどのように啓発して、皆さんにやっていただく気 持ちになっていただけるかを考えていかなければいけないと思います。</p> <p>ありがとうございました。ほかにはよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>4. 閉会</p> <p>では、ほかにないようでしたら以上をもちまして、第4回の会議を閉会させていただきたいと 思いますが、先ほど2点ありました意見、それから計画名称のアンケートについてはご協力い ただければと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>次回、第5回は3月19日(火)午後2時から中央公民館の301学習室になります。</p> <p>お疲れ様でした。</p>